

# ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016 応募の手引き

2016.8.23 版

## 1. 応募方法の概要

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2016 の応募にあたり、必要な手続きおよび提出資料を以下の(1)(2)に示します。

### (1) 応募費用の振込と振込金受領書(写し)の FAX 送付

応募費用は1件5万円(住宅シリーズ・地域区分・仕様あたり)となります。所定の金額を以下のいずれかの口座にお振込み下さい。

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店 普通口座 2045720 名称: ザイ)ニホンチイキカイハツセンター	郵便振替 口座番号 00190-5-48953 加入者名: 一般財団法人日本地域開発センター
--	--

お振込み後、各金融機関発行の振込金受領証(振込受付書、ATM 利用明細など)の写しを FAX で以下の事務局に送付して下さい。本資料の末尾に台紙のサンプルがありますのでご利用下さい。

事務局: 一般財団法人日本地域開発センター  
FAX: 03-3501-6855  
TEL: 03-3501-6856

お振り込みに関する確認・お問い合わせ等も上記の事務局にお願いいたします。

## (2)提出資料一覧

応募費用のお振込み後、下表の①～⑧の資料を指定のファイル形式で作成し、電子メールまたはファイル転送サービスで下記の事務局メールアドレスに提出して下さい。各資料の詳細は p.7 以降をご覧ください。

事務局メールアドレス: info@house-of-the-year.com

資料 番号	資料名	必須 ／任意	配布 ファイル名	シート構成・記入内容等	提出ファイルの形式・数量・ファイル名 その他注意事項
①	基本情報と 応募シリーズ概要	必須	2016_01_gaiyou.xlsx (提出用)	・基本情報シート ・シリーズ概要シート	・Excelファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・ファイル名の先頭を「2016_01」
②	視点1-1 外皮仕様	必須	2016_02_gaihi.xlsx (提出用)	・U値シート ・UA値等シート	・Excelファイル×シリーズ数 ・ソフト等からの出力も可とします ・ファイル名の先頭を「2016_02」
③	視点1-2 一次エネルギー 消費性能計算結果	必須	2016_03_ichiji.pdf (入力・出力方法の解 説資料。提出版は計算 プログラムで作成)	・一次エネルギー計算結果	・PDFファイル×応募件数 ・「エネルギー消費性能計算プログラム」で 出力されるPDFファイルです ・ファイル名の先頭を「2016_03」、シリー ズ名・地域区分等がわかるファイル名
④	視点2 省エネ設計手法 ・設備の採用	任意	2016_04_shouene .docx (提出用)	・通風利用設計手法 ・日射熱・蓄熱利用手法 ・計算プログラムで評価で きない省エネ暖冷房設備 など	・PDFファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・書式は自由です (手法等1つにつき2ページ 以内) ・ファイル名の先頭を「2016_04」
⑤	視点3-1 情報発信	任意	なし	・ウェブサイト・パンフ レット・雑誌・チラシ等各 種媒体による、一般ユー ザーへの省エネ関連の情報 発信内容	・PDFファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・書式は自由です (4ページ以内) ・ファイル名の先頭を「2016_05」
⑥	視点3-2 仕様の標準化	任意	なし	・パンフレット等に明記さ れた標準断熱仕様・標準設 備等	・PDFファイル×シリーズ数 ・書式は自由です (4ページ以内) ・ファイル名の先頭を「2016_06」
⑦	内外観写真	必須	なし	・実物件、モデルハウスな どの内外観写真	・PDFファイル×シリーズ数 ・書式は自由です (4ページ以内) ・施主名・住所等の個人情報が判別できない 写真をご用意下さい ・ファイル名の先頭を「2016_07」
⑧	実物件図面	必須	なし	実物件の図面とし、以下の 図面を含むこと ・各階平面図 ・立面図 ・矩計図	・PDFファイル×シリーズ数 (断熱仕様が複 数ある場合は追加) ・モデルハウスの図面は不可とします ・施主名・住所等の個人情報を判別できない よう加工してから提出して下さい ・ファイル名の先頭を「2016_08」

## 2. 応募方法の詳細

### (1) 評価対象

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016 の評価対象となるのは、次のとおりです。

- ①新築・戸建の「住宅シリーズ」
- ②平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの 1 年間に、2 棟以上の竣工実績を有すること  
(応募締切後の竣工見込み物件を含みます)  
(注)モデルハウスは売却予定の有無によらず竣工実績とはみなしません

#### [留意事項]

- ・「住宅シリーズ」とは、同一の商品名や、類似したデザイン・仕様等で括られる複数の住宅を指します。
- ・竣工見込みの物件は、竣工が確認できる資料を後日ご提出いただく場合があります。
- ・過去に応募された住宅シリーズ(各賞を受賞されたシリーズを含む)でも再度応募することができます。ただし、過去に「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック『大賞』」および「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー『大賞』」を受賞した住宅シリーズについては、省エネルギー性や普及度に特段の向上が見られない場合には再度『大賞』を受賞することはできません。
- ・本制度は、住宅シリーズを「標準的な仕様※」での省エネ性能等を評価・表彰することを基本とします。特定の優れた一棟の住宅を評価するものではありませんのでご注意ください。住宅シリーズにおいて、お客様が設備の種類・仕様(特に断熱仕様、給湯・暖冷房設備の熱源・機種等、太陽光発電の容量等)を任意で選択可能なものについては、「標準的な仕様」を特定したうえでご応募下さい。

※「標準的」とは、「当該住宅シリーズの説明資料等に記載されている」「供給戸数が最も多い」あるいは「商品コンセプトに最も合致する」などを想定しています。

### (2) 応募受付期間

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016 の応募受付期間は次のとおりです。

平成 28 年 10 月 15 日(土)～平成 28 年 10 月 31 日(月)  
この期間内に、応募費用の振込、および応募資料①～⑧の提出を完了して下さい。

### (3)応募単位(応募件数)

応募件数は以下に従って定めて下さい。

- ①複数の住宅シリーズ名で応募する場合、シリーズ名ごとに1件とします。
- ②複数の省エネ地域区分で応募する場合、地域区分ごとに1件とします。
- ③断熱仕様・設備仕様の組合せが異なる場合、組合せごとに1件とします。

以下に件数の例を記します。

例 1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスA					応募	応募		
レジデンスB						応募	応募	

この場合、応募件数は「4」となります。

例 2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスC	高断熱仕様で応募							
				通常断熱仕様で応募				

この場合、応募件数は「8」となります。

なお、省エネ地域区分の選定については次の(4)をご確認下さい。

## (4)地域区分

地域区分は、「住宅・建築物の省エネルギー基準」における省エネ地域区分に従います。どの地域区分に何棟を竣工したか確認の上応募して下さい。

なお、都道府県・市町村と地域区分の対応は、省エネルギー基準の解説書または国土交通省の省エネルギー法関連情報サイト

([http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku\\_house\\_tk4\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk4_000005.html))

で、「○告示」→「■エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」→p.34 以降などの資料を参照して下さい。

応募される住宅シリーズが複数の地域区分にまたがる場合は、次により応募地域区分を決定して下さい。

①応募する住宅シリーズの竣工棟数が多い上位 2 つの地域区分を必ず含めて応募して下さい。

②ただし、平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における総竣工棟数(応募する住宅シリーズではない住宅も含みます)が 50 棟以下の企業※は、住宅シリーズの竣工棟数が最も多い地域区分のみの応募で構いません。

③上記以外の地域区分においても、竣工実績がある場合には応募することが可能です。

※企業グループで応募する場合は、企業グループ全体で 50 棟以下の場合とします。

以下に地域区分選定の例を示します。

例 1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (平成28年1月1日～12月31日)	0	0	0	15	10	50	20	0	95
応募する企業の総竣工棟数 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)	0	0	20	30	50	100	50	0	250
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	○	○	◎	◎	×	

この場合、平成 27 年度の総竣工棟数が 50 棟を超えているため、応募シリーズの竣工棟数の上位 2 区分(6 地域および 7 地域)は必ず応募して下さい。それ以外で平成 28 年に竣工実績のある 4・5 地域を含めた応募も可能です。平成 28 年にシリーズの竣工実績のない 3 地域では応募できません。

例 2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (平成28年1月1日～12月31日)	0	0	0	0	3	10	1	0	14
応募する企業の総竣工棟数 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)	0	0	0	0	5	20	0	0	25
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	×	○	◎	○	×	

この場合、平成 27 年度の総竣工棟数が 50 棟以下のため、応募シリーズの竣工棟数上位 1 区分(6 地域)のみの応募で構いません。平成 28 年に竣工実績のある 5・7 地域を含めた応募も可能です。この例の 7 地域のように、1 棟しか竣工していない地域や、平成 27 年度に竣工実績のない地域区分でも(平成 28 年に竣工実績があれば)応募できます。

## (5)評価・表彰単位

①評価および表彰は、住宅シリーズごとに行います。複数地域で応募された場合、「視点 1」の評価を各地域区分の竣工棟数に応じて加重平均し、応募された地域全体が表彰対象となります。

②同一の住宅シリーズであっても地域ごとに断熱仕様・設備仕様(特に給湯熱源)等の差異が大きい場合は、別のシリーズとして評価する場合があります。この場合、事前に事務局から応募者にご連絡します。

例 1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスA				応募	応募	応募		
レジデンスB						応募	応募	

この場合、「レジデンス A」は 4～6 地域を加重平均したもので評価し、「レジデンス B」は 6・7 地域を加重平均したもので評価します。「レジデンス A」の 7 地域、「レジデンス B」の 4・5 地域は評価対象外です。

例 2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスC	高断熱仕様 &ガス給湯機で応募							
			高断熱 &電気HP給湯機					
					通常断熱 &電気HP給湯機			

同一のシリーズ名であっても、断熱仕様および給湯熱源が異なるため 1・2 地域と 3・4 地域および 5～7 地域は別々の評価となる場合があります(一部が入賞し、一部が選外という結果がありえます)。これらをまとめて評価するか別々に評価するかは、断熱仕様や一次エネルギー計算結果等の差異の程度によります。

応募件数、地域区分、表彰単位等についてご不明な点がある場合は、事務局に電子メールでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先:

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー事務局

info@house-of-the-year.com

## (6)提出資料詳細

p.2に一覧で示した提出資料の詳細を記します。

### ① 基本情報と応募シリーズ概要 (配布時のファイル名:2016\_01\_gaiyou.xlsx)

この Excel ファイルは以下の 2 種類のシートで構成されています。各シートに応募シリーズの内容等を入力して下さい。

#### ◆基本情報シート

応募者情報(応募企業名、質疑等対応のご担当者名、応募するシリーズ名と応募する地域等)を入力して下さい。

#### ◆シリーズ概要シート(シリーズ 1～3 用)

応募する住宅シリーズごとに、外皮断熱仕様、一次エネルギー計算結果、竣工棟数、設計の工夫等の概要を入力するシートです。資料②の作成および一次エネルギー計算(資料③)を行った結果をこのシートに転記して下さい。

住宅シリーズは 3 つまで入力できるようになっています。4 つ以上のシリーズで応募される場合は事務局にご連絡下さい。応募企業ごとに 1 ファイルを作成し、**Excel 形式のまま**提出して下さい。ファイル名は配布時のままでも変更してもかまいませんが、「**2016\_01**」で始まる名称として下さい。

シートへの入力内容等の詳細を、各シート右側の印刷範囲外に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

### ② 視点 1-1 外皮断熱仕様 (配布時のファイル名:2016\_02\_gaihi.xlsx)

この Excel ファイルは以下の 3 種類のシートで構成されています。U 値シートおよび UA 値等シートに断熱仕様等を入力して下さい。

#### ◆記入要領シート

このファイルの記入要領を記載しています。必ず内容を確認してから入力を開始して下さい。

#### ◆U 値シート

応募する住宅シリーズの標準的な断熱仕様に基づき、外壁・天井など主な断熱部位の U 値(平均熱貫流率)を算出して下さい。算出した U 値は、UA 値等シートの該当する欄、および資料①の該当する欄に転記して下さい。

#### ◆UA 値等シート

U 値シートで算出した U 値を転記し、標準的な開口部仕様(U 値・ $\eta$  値)を入力して、**モデル住宅における  $U_A$  値**(外皮平均熱貫流率)などを算出して下さい。実際に竣工・販売された住宅における  $U_A$  値等ではありませんのでご注意下さい(※)。算出した  $U_A$  値等は、資料③の作成時に「エネルギー消費性能計算プログラム」に入力するほか、資料①の該当する欄にも転記して下さい。

応募シリーズごとに 1 ファイルを作成し、**Excel 形式のまま**提出して下さい。複数シリーズでの応募の場合、ファイル名は「**2016\_02**」で始まり**シリーズ名がわかる名称**として下さい(複数仕様での応募の場合も同様です。ファイル名の例:「2016\_02\_XYHOUSE(寒冷地仕様).xlsx」「2016\_02\_QR の家\_5-7 地域仕様.xlsx」)。

U 値シート・UA 値等シートへの入力内容等の詳細を、各シート右側の印刷範囲外に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

他のソフト等により U 値および UA 値等を算出した結果を使用してもかまいません。その場合の提出方法は、「記入要領」シートの記載に従って下さい。

(※)視点 1 の省エネルギー性の評価は、応募者間の条件を揃えて行うため、実際に竣工された住宅ではなく、省エネルギー基準のモデル建物を想定して行います。

### ③ 視点 1-2 エネルギー消費性能計算結果

以下の URL(「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」)にアクセスし、一次エネルギー計算を行って下さい。

<http://house.app.lowenergy.jp/>

応募件数 1 件ごとに、上記プログラムで計算して出力できる PDF ファイルを 1 つ提出して下さい。入力方法・出力方法の詳細は、配布している「2016\_03\_ichiji.PDF」をご覧ください。なお、提出するファイル名は「**2016\_03**」で始まり、**シリーズ名および応募地域区分等が判別できる名称**として下さい(例:「2016\_03\_XYHOUSE(4 地域).PDF」「2016\_03\_QR の家\_6 地域.PDF」)。

※計算プログラムは随時バージョンアップが行われます。計算結果を事務局で再現可能にするため、計算プログラムでの計算は必ず平成 28 年 10 月 3 日以降に行ってください。

### ④ 視点 2 省エネ設計手法・設備の採用 (配布時のファイル名:2016\_04\_shouene.docx)

通風利用や日射熱・蓄熱利用などのいわゆるパッシブ設計手法や、「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」で評価することができない各種の省エネ・快適性に寄与する設備等で、応募するシリーズあるいは企業として標準的に採用しているものを記入して下さい。

内容は以下の 1)～7)の要素に分け、採用している要素のみについて具体的な内容(設計手法、導入実績等)をそれぞれ A4 サイズ 2 ページ以内に収まるように記入して下さい。

- 1) 通風(自然風)の利用
- 2) 日射熱・蓄熱の利用
- 3) 日射遮蔽
- 4) その他の設計による省エネ・快適化手法
- 5) 計算プログラムで評価できない設備(暖冷房設備)
- 6) 計算プログラムで評価できない設備(暖冷房設備以外の設備)
- 7) その他、省エネ・省 CO<sub>2</sub>・快適性向上のための手法

Word ファイルを配布しますが、必ずしもこのファイルを使う必要は無く、**提出資料の書式は自由**とします。所定のページ数におさまるレイアウトになっていれば、今回新たに作成する資料でも、ウェブサイトやパンフレット等の既存資料から抽出したものでかまいません。なお、記載する内容が上記の 1)～7)のどれに該当するかを明記して下さい。

特段記載する内容が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は、各要素の内容を一つの **PDF ファイル**に統合して提出して下さい。ファイル名は「**2016\_04**」で始まる**名称**として下さい(例:「2016\_04\_視点 2.PDF」)。

### ⑤視点 3-1 情報発信

企業として、施主や見込み客などの一般住宅ユーザー向けに公開している省エネルギー・快適性関係の情報発信の内容を提出して下さい。例えば以下のような内容が考えられますが、これ以外の内容でも問題ありません。

- ・断熱や日射遮蔽の効果(快適性の向上、光熱費の削減など)
- ・高性能設備の効果(快適性の向上、光熱費の削減など)
- ・設備の効率的な使い方、メンテナンス方法の説明
- ・省エネルギー関連セミナーの実施

提出資料の書式は自由としますが、A4 サイズ 4 ページ以内におさまるようにレイアウトして下さい。内容は、できる限りウェブサイトやパンフレット、雑誌・チラシ等の既存資料から抽出したものとして下さい。

特段記載する内容が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は、一つの PDF ファイルとして提出して下さい。ファイル名は「**2016\_05**」で始まる名称として下さい(例:「2016\_05\_視点 3-1.PDF」)。

### ⑥視点 3-2 仕様の標準化

資料②に入力した外皮断熱仕様や、資料③に入力した各種設備などが、住宅シリーズあるいは企業としての標準仕様であることが明記された資料があれば提出して下さい。

提出資料の書式は自由とし、A4 サイズ 4 ページ以内におさまるようにレイアウトして下さい。内容は、できる限りパンフレットや仕上表など既存の資料から抽出したものとして下さい。

標準仕様であることが明記された資料等が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は、一つの PDF ファイルとして提出して下さい。ファイル名は「**2016\_06**」で始まる名称として下さい(例:「2016\_06\_視点 3-2.PDF」)。

### ⑦内外観写真

住宅シリーズごとに、典型的なデザインおよび規模の住宅を選定し、その内外観写真を提出して下さい。

提出資料の書式は自由とし、1 シリーズにつき A4 サイズ 4 ページ以内におさまるようにレイアウトし、PDF ファイルで提出して下さい。ファイル名は「**2016\_07**」で始まり、複数シリーズの場合はシリーズ名のわかる名称として下さい(例:「2016\_07\_XYHOUSE 写真.PDF」)。

写真は実物件のものでも、モデルハウスのものでもかまいません。実物件の写真を載せる場合は、表札等の個人情報がわかるものが写りにないように注意して下さい。

## ⑧実物件図面

住宅シリーズごとに**実住宅**を1件選定し、その物件に関する以下の図面を提出して下さい。

- 1) 各階平面図
- 2) 立面図
- 3) 矩計図(資料②の断熱仕様が確認できるもの)

また、資料④で「採用する」とした設計手法・設備等が確認できる図面があれば添付して下さい。

実住宅は以下の条件をできるだけ多く満たす物件を1件選定して下さい。

- ・典型的なプラン・規模で、かつ標準的な外皮断熱仕様・設備仕様を持つ物件であること
- ・(太陽光発電を標準的に採用するとした場合)太陽光パネルが設置された物件であること
- ・平成28年に竣工した物件であること(竣工予定物件でも可)
- ・応募している地域区分(複数地域であればそのいずれか)で竣工した物件であること

図面は実住宅のものに限り、**モデルハウスの図面は不可**とします。1シリーズにつきPDFファイル1つに図面をまとめて下さい(各種CADデータでの提出は受け付けません)。また、同一シリーズでも複数の断熱仕様で応募する場合は、各断熱仕様に該当する実物件を1件ずつ選定し、それぞれの図面を提出して下さい。用紙サイズやページ数に制限はありません。ファイル名は「**2016\_08**」で始まり、**ファイルが複数になる場合は内容が判別できる名称**として下さい(例:「2016\_08\_XYHOUSE 図面(寒冷地).PDF」)。

なお、図面内の施主名・住所等の個人情報がかかるものは削除などで判別できないように加工してから提出して下さい。

## ⑨その他の資料

審査の過程で、上記以外の資料のご提出をお願いする場合がありますのでご協力下さい。

## (7)応募資料送付先・お問い合わせ先等一覧

◆応募資料の電子メール送付先、および応募資料作成等全般に関するお問い合わせ先

事務局メールアドレス: info@house-of-the-year.com

◆振込金受領書のFAX送付先、および振込関係のお問い合わせ

事務局: 一般財団法人日本地域開発センター  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-7 第二文成ビル  
FAX: 03-3501-6855  
TEL: 03-3501-6856

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2016 振込金受領書 FAX 送付用台紙

宛先

一般財団法人 日本地域開発センター

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2016 事務局行

送信日

FAX 番号 03-3501-6855

電話番号 03-3501-6856

発信元(応募者)

電話番号

FAX 番号

送信枚数(本状含め): 合計 枚

振込金受領書の写しを貼付して下さい  
(収まらない場合は 2 ページ目への貼付でもかまいません)